



ボランティアの種類



3. 自然保護・環境保全の活動

● 森林を守る活動

植林や砂漠の緑化プロジェクト、途上国の過剰な森林伐採を止める働きかけなど

● 水辺を守る活動

EM 菌等活用による、汚染された河川や湖の保全や再生、海岸の浸食調査、ホタル環境整備、稚魚の放流など

● 野生生物を守る活動

生息地の保護、保全活動、密輸や密猟を止める活動など

● リサイクル活動

空き缶、空き瓶、ペットボトル、古紙などの回収



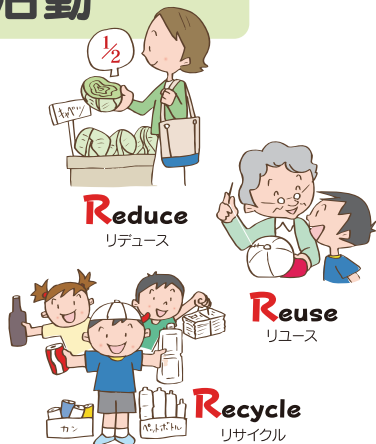
リサイクル

Pick up

リサイクル活動

3R

リデュース：廃棄物の発生抑制、リユース：再利用、リサイクル：再資源化の3Rを実践し、環境に悪い影響を与えないエコロジーな暮らしをしていくことも環境ボランティア。また、余分なものを買わない工夫や、環境にやさしい商品を選ぶなど、何ができるかを一人ひとりが考えながら暮らしていくことも、地球のためにできることです。



● 身近な自然を守る活動

近所の公園の清掃や、管理、里山、都市近郊の緑の保全など

● 食や健康を考える活動

公害問題や化学物質が健康や環境へ与える影響についての情報発信や提言活動など

● クリーンアップ活動

街の清掃作業やゴミ減量作戦、清掃登山など

● CO₂ 削減活動

節水、光熱費の節約、エコバッグ、マイ箸などの推進、打ち水大作戦、キャンドルナイトの実施、BDF(バイオディーゼル油)の利用など



環境保全

Pick up

阿蘇の野焼き支援

野焼き、火文字焼き、火振り神事などは、まとめて「阿蘇の火祭り」として、春の風物詩となっています。野焼きは、牧草の発芽、生育の環境を準備し、ダニなど人畜に有害な虫を駆除するとともに、牛馬の餌になる草を育てています。野焼きをやめるとススキや木が生い茂り、畜産的土地利用ができなくなるということです。何百年もの間、人々が野焼きを行ってきたことにより、阿蘇の草原は美しく保たれているのです。近年では、人手不足で野焼きの面積もだんだん狭くなっているそうです。この美しい景色を次世代にも残していけるよう、ボランティアの力が必要とされています。※一般的な野焼き(野外焼却)は例外を除き、火事、ダイオキシン対策のため、法律で禁止されています。